

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	食用ほおずきの6次産業化とブランド化
事業主体 (連絡先)	ちの食用ほおずきの会 (0266-77-2515 宮澤)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大
事業タイプ	ソフト
総事業費	428,927 円 (うち支援金: 317,000 円)

事業内容

特産品による知名度アップと、全国にアピールできる加工品等開発により茅野市の農業再生をはかるため、次の事業を行った。

- 茅野市湖東、北山、米沢地区を中心に食用ほおずきの生産拡大、荒廃地再生
- 6次産業に結びつけ地域活性化を実践
 - 加工品の開発と商品化、販売
 - ブランドアピールのためのシール、ホームページ、パンフレット、のぼり等の作成



【ホームページ画像】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 食用ほおずきの生産拡大 30 アール→ 40 アール
荒廃地再生 10 アール以上達成
- 「ちの食用ほおずきジャム」3種類を開発し、たてしな自由農園、農協直売所、各地のレストラン等で販売。茅野市の名産品として定着し始めている。ホームページやパンフレットを通じた販売ルートも4件成立した。
- 食用ほおずきの新たな作付希望者が増えている。

【目標・ねらい】

- ①特産品開発による6次産業化
- ②地域活性化
- ③農業再生

※自己評価【A】

【理由】

生産から販売まで一貫して行うことにより、関わる人が増え、地域活性化につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成29年度は販売促進計画を作り、イベントへの参加、ホームページやチラシの活用により、「ちの食用ほおずき」のPRを強化する。また開発品を増やし、原料の生産協力をお願いして行く。

また、現在は諏訪地域にジャムの加工施設がないため松本市まで行って加工しているが、地域内で加工できるよう、関係機関に働きかけたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある